

全国アスベスト適正処理協議会

第10回企画運営委員会

議事録

日時：平成20年7月16日（水） 16時～

場所：環境新聞社 4F 会議室

●議 事

1. 理事会議事録について
2. 会則について
3. 適正処理ガイドラインについて
4. 今年度事業内容について
5. アスベスト対策環境展&協議会主催セミナーについて
6. その他

●資 料

1. 理事会議事録
2. 協議会会則
3. 適正処理ガイドラインについて
4. 事業概要
5. アスベスト対策環境展概要

参考資料

- ① 第9回企画運営委員会議事録

<出席者>（敬称略）

飯島 孝	(財) 産業廃棄物処理事業振興財団 専務理事
吉田文章	(財) 産業廃棄物処理事業振興財団 技術部担当部長
花澤義和	三協興産(株) 代表取締役
小里洋行	ヤシマ工業(株) 代表取締役
大山正一	三協興産(株) 取締役ソリューション事業部 事業部長
原島 浩	(株)ヤシマ環境総合研究所 代表取締役
小坂幸彦	ヤシマ工業(株)経営企画室室長
山口陽二	環境リサーチ(株) 代表取締役
清水 博	(株)リボックス建築環境計画 代表取締役
豊口敏之	(株)環境管理センター 分析センター副センター長
穂積篤史	都築鋼産(株) 取締役営業管理部長
杉田昭義	杉田建材(株) 常務取締役
曾我友成	(株)カムテックス 東京営業所所長
小峰且也	環境新聞社 取締役
酒井 剛	環境新聞社 広告・事業担当次長
池田正史	環境新聞社 編集部記者

議事：

1. 前回議事録の確認・承認

- ・前回の第9回企画運営委員会の議事録を確認の上、承認された。

2. 第1回理事会議事録確認

- ・第1回理事会の議事録の確認をおこなった。

3. 会則変更について

- ・会則変更について再度確認をおこなった。

4. ガイドラインについて

- ・大山部会長、清水部会長がそれぞれ活動計画及びフローシートを配布。今後の作業計画について議論した。
- ・既存マニュアルの整理及び倫理規定を中心に、各部会代表者を決めて検討し、10月から半年間をかけて作成。年度明けに中間発表できるように進めていくことになった。
- ・自治体担当者を交えた共同研究の実施や、アンケート調査、関連の業界団体、市民なども交えた合同勉強会の実施等についても、合わせて検討する。自治体担当者らと協議することで、各種規制・指針等の解釈・判断の基準を明確化できるのではないかとの意見が出された。

5. 事業計画について

- ・相談窓口＝協議会ホームページを通じて相談を受け付け、担当社・会員に振り分を行うようなイメージで、ルールを決めておくべきとの意見が出され、今後検討することとなった。
- ・資格制度の創設＝会員企業が“優良業者”である点を主張できる枠組みを作れないかとの意見が出された。そのための出発点として、例えば協議会主催のセミナーや勉強会の受講を条件に、一定の資格を付与するなどの仕組み創設が提案され、今後、検討することとなった。

6. アスベスト対策環境展について

- ・同展に、協議会も協賛し、出展ブースにおいてパネル展示をすることなど報告された。また、今回は展示会場内において主催者セミナーの1枠を、当協議会が実施する計画であるとの報告があった。

7. その他

- ・会員企業数について＝正式に断りを入れてきた会員企業が同日現在で2社、また回答のない会員企業が20社程度あることが報告された。
- ・6月20日付発行の改正版JIS1481について、厚生労働省委託の講習会配布資料のコピーを参考資料として配布。これについての説明及び議論があった。
- ・次回企画運営委員会について＝9月9日（火）16：00から環境新聞社において実施することになった。

以上